

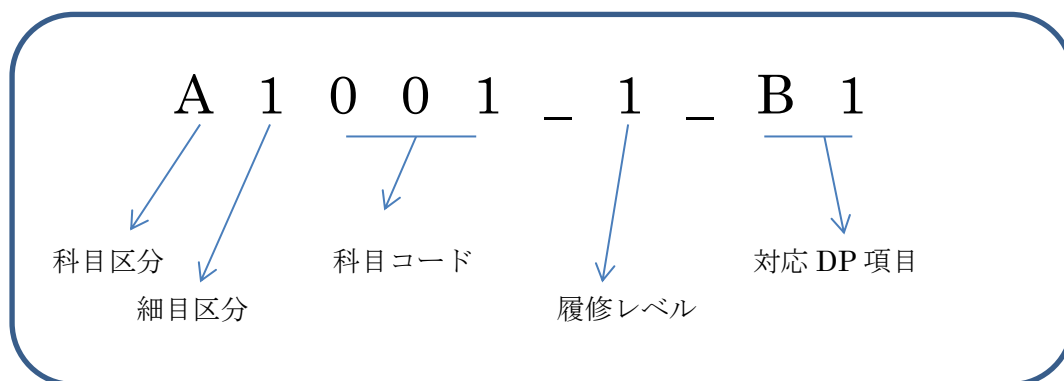
## 短期大学美術学科 「履修系統図」の見方

入学直後から卒業に至るまで、どのような順番で履修科目を選び、どのように学習を積み重ねていけばよいのでしょうか？「履修系統図」はきちんと計画立てて科目を履修し、学修できるように、また、選択に迷った場合の参考資料になるようにと作られた補助ツールです。ぜひ活用してください。

### ○科目ナンバーについて

「履修系統図」は授業科目一覧表の一種ですが、最大の特徴は授業科目名の右に記された一連の記号にあります。この記号を「科目ナンバー」と呼びます。全ての科目には異なる科目ナンバーが付けられており、そのナンバーには意味があります。

一番左のアルファベットは「科目区分」に対応しており、二番目の数字は「細目区分」、以下、下の図にあるように、全ての記号には意味が付されています。記号の配置ルールが分かれば、表を見なくともその科目がどのような科目か、カリキュラム上でどのような位置にある科目かが分かります。



学生のみなさんには、①「科目区分」や「細目区分」、それに「対応 DP 項目」（学習目的別の記号です）を参考にしながら、極端な偏りなく、バランスの良い履修を目指すこと、②履修レベルを参考にしながら、段階を追って科目を選択、履修していくことを念頭に置いていただきたいと願っています。

### ○各記号の説明

- ・ 科目区分 → 「一般教育科目」等、カリキュラムを構成する大区分に当たります。

A	一般教育科目
B	専門教育科目
C	展開科目
D	選択演習科目

E	専門演習科目
F	専門実習科目

- ・細目区分 → 科目区分内でさらに細かく分類された科目グループの名称です
- ・科目コード → 科目一覧表にしたがって1から順に番号が振られています
- ・履修レベル → どの年次で履修すべきかを示しています
- ・対応 DP 項目 → 学位授与方針の各項目に対応した記号です

(参考)

短期大学 美術学科 学位授与方針	
本学科の履修規程に定められた卒業必要単位を取得した者には、以下に示す能力を身につけたものと認定して、短期大学士（美術）の学位を授与する	
A-1	現在の美術やデザイン、マンガの動向および理論を理解し説明することができる。
A-2	伝統的な芸術表現と様式を学び、現代に生かすことができる。
A-3	現代社会に生起する様々な事象に対してみずからの考えを筋道を立てて述べるすることができる。
B-1	柔軟な思考と創造性を発揮できる。
B-2	問題解決の手法を幅広く検討し、実践することができる。
C-1	主体的にテーマ・課題を見出す姿勢を身につけている。
C-2	他者を尊重し思いやる心を身につけている。
D-1	現代の芸術活動に必要な基礎的な造形力を身につけている。
D-2	美術やデザイン、マンガの技術を応用し、自らの個性を表現し発信する力を身につけている。

以上 教務委員会